

# 2026年3月期 決算補足資料

1. 決算概観	P.2
2. 業績のポイント	P.3
3. 業績の状況	P.4
4. 製品別売上状況	P.5
5. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況	P.6
6. 開発品一覧	P.7～9
7. 2027年3月期 業績予想	P.10
<b>【参考資料】</b>	
8. 損益計算書の概要	P.12～13
9. 貸借対照表の概要	P.14
10. 主な業績項目の推移	P.15
11. 杏林製薬（単体）資料	P.16～19

2026年5月12日  
杏林製薬株式会社



## ■ 将来の見通しに関する注意事項

本資料には、当社グループに関する業績見通しや目標・計画等、将来に関する事項が含まれています。これらの記述は、本資料作成時点において入手可能な情報や予測に基づく、当社グループの仮定や見通し等の判断によるものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しております。したがって、その後発生した種々の要因により、実際の業績や開発品の進捗・成否、その他の見通し等が記述内容と大きく異なる可能性があります。また医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その記述は宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

# 2026年3月期 決算概観



(単位：百万円)	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	対前期 (%)	27年3月期 (予想)	対前期 (%)
売上高	113,270	119,532	130,087	126,257	-2.9	121,800	-3.5
営業利益	5,123	6,234	12,567	3,567	-71.6	2,000	-43.9
経常利益	5,827	6,822	13,219	4,031	-69.5	2,300	-42.9
親会社株主に帰属する当期純利益	4,723	5,475	9,086	3,448	-62.0	1,500	-56.5
1株当たり当期純利益	82.44円	95.41円	158.17円	60.03円	-62.0	26.11円	-56.5
総資産	176,045	177,627	193,618	195,455	+0.9	—	—
純資産	125,461	130,735	136,285	142,425	+4.5	—	—

## 26年3月期 連結業績 (実績)

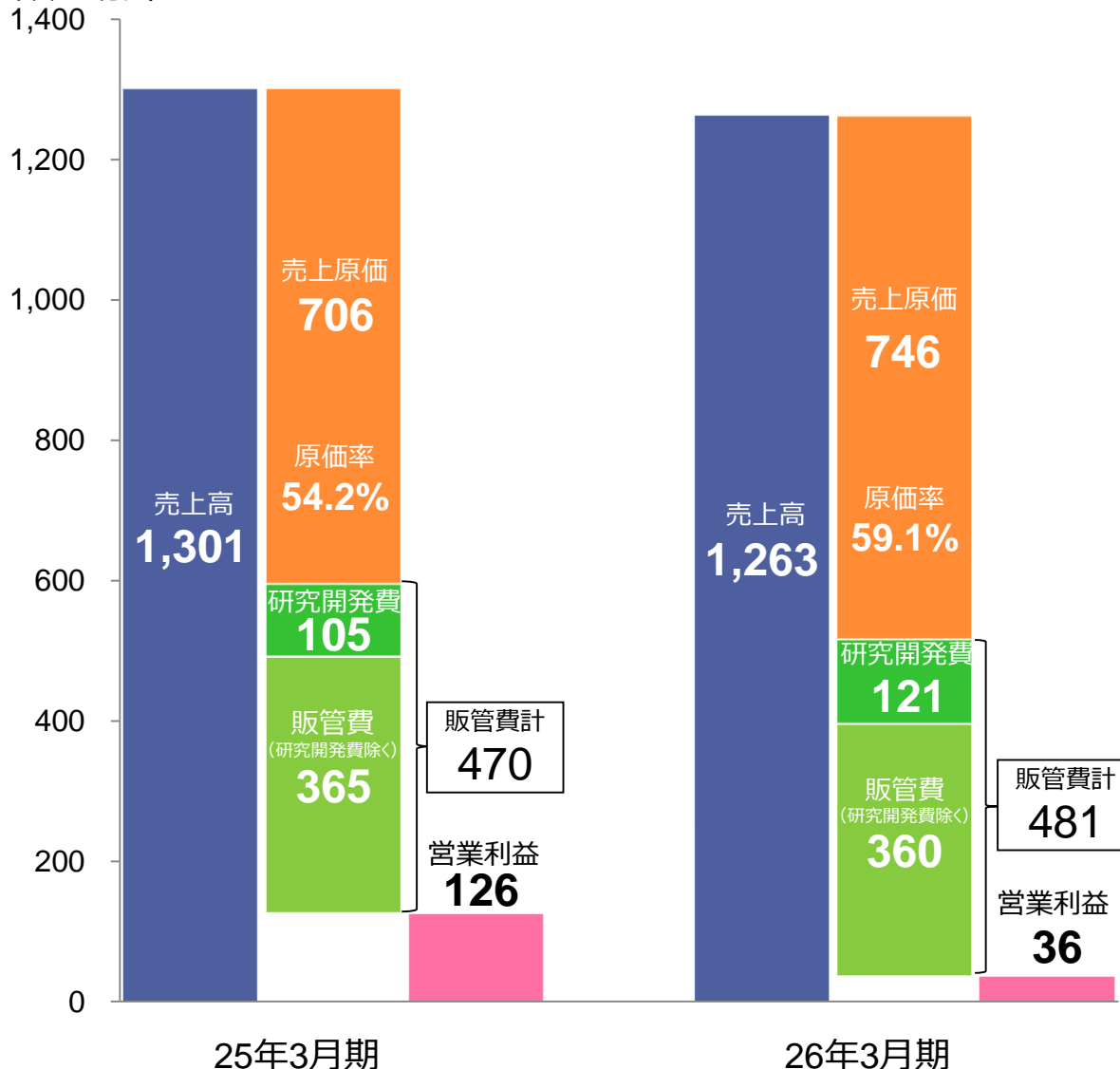
【売上高】 当社グループ全体の売上高は1,262億57百万円と前期比38億29百万円減少しました。新医薬品等（国内）は、薬価改定の影響はあったものの、積極的な新薬の普及に努め、「ベオーバ」、「デザレックス」等が伸長したことにより、前期を上回る実績で推移しました。新医薬品（海外）は、前期に自社創製化合物「KRP-M223」の導出に伴う契約一時金収入を計上した反動減により、前期を下回りました。後発医薬品は、長期収載品の選定療養等の影響により、増加しました。

【利益】 売上の減少により、売上総利益は516億22百万円と前期に対して79億12百万円減少しました。販売費及び一般管理費は、コスト削減に努めたものの、導入品の契約一時金支出の計上等により、前期に対して10億87百万円増加（うち、研究開発費は15億45百万円増加）しました。その結果、営業利益は35億67百万円（前期比71.6%減）、経常利益は40億31百万円（前期比69.5%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益等を特別利益に計上したことにより、34億48百万円（前期比62.0%減）となりました。

## 27年3月期 連結業績 (予想)

売上高は、「ベオーバ」、「ラスビック」、「ムコダイン」の伸長を見込むものの、デザレックスの売上減少、薬価改定等の影響等により、減収を見込みます。利益面では、販売費及び一般管理費（研究開発費含む）は減少するものの、減収等を主因として、営業利益は減益を見込みます。これらの結果、売上高は1,218億円（前期比3.5%減）、営業利益は20億円（前期比43.9%減）、経常利益は23億円（前期比42.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は15億円（前期比56.5%減）を見込みます。

(単位：億円)



## 売上高は減少 ( - 38億円)

- 新医薬品等（国内）の売上増加
  - ・ 新薬の伸長（ベオーバ、デザレックス等）
- 後発医薬品の売上増加
- 新医薬品（海外）の売上減少
  - ・ 導出品の契約一時金収入の反動減（KRP-M223）

## 売上原価率は 4.9ポイント上昇

【低下要因】

- 新薬の売上増加（ベオーバ、デザレックス等）

【上昇要因】

- 導出品の契約一時金収入の反動減（KRP-M223）
- 薬価改定（杏林製薬5%台）
- 後発医薬品の売上増加

## 売上総利益は減少 ( - 79億円)

### 販管費は 11億円増加

- 研究開発費は 16億円増加
  - ・ 導出品の契約一時金支出
    - ・ 当期：KRP-A225、KRP-126（BDT272）
    - ・ 前期：KRP-S124
  - ・ KRP-R120のPh3試験費用計上
- 販管費（研究開発費除く）は 5億円減少
  - ・ 本社移転等によるコスト削減、特許等使用料の増加等

## 営業利益は減少 ( - 90億円)

# 2026年3月期 業績の状況



(単位：億円)	25年3月期	26年3月期	対前期 (額)
売上高	1,301	1,263	- 38
新医薬品等(国内)	842	871	+ 29
新医薬品(海外)	89	7	- 82
後発医薬品	371	385	+ 14
営業利益	126	36	- 90
経常利益	132	40	- 92
親会社株主に帰属する 当期純利益	91	34	- 57

	(対前期)	(対予想) 2025年5月12日発表
■ 売上高	1,263億円 ( - 38)	( - 7)
● 新医薬品等 (国内)	871億円 ( + 29)	( - 19)
	25.3	26.3
・ベオーバ	221 ⇒ 258 ( + 37)	( + 7)
・ラスビック	78 ⇒ 73 ( - 5)	( - 12)
・リフヌア	9 ⇒ 9 ( 0)	( - 2)
・デザレックス	96 ⇒ 102 ( + 6)	( + 1)
・フルティフォーム	137 ⇒ 128 ( - 9)	( - 4)
・ペンタサ	122 ⇒ 123 ( + 1)	( + 7)
・キプレス	35 ⇒ 22 ( - 13)	( + 1)
・ムコダイン	36 ⇒ 37 ( + 1)	( - 15)
● 新医薬品 (海外)	7億円 ( - 82)	( + 5)
	導出品の契約一時金収入の反動減 (KRP-M223) - 82億円	
● 後発医薬品	385億円 ( + 14)	( + 8)
	長期収載品の選定療養等の影響、24年度追補収載品等の売上寄与	
■ 営業利益	36億円 ( - 90)	( - 25)
● 原価率：59.1% (前期：54.2%)	【低下要因】新薬の売上増加 (ベオーバ、デザレックス等) 【上昇要因】導出品の契約一時金収入の反動減 (KRP-M223)、 薬価改定、後発医薬品の売上増加	
● 研究開発費：121億円 (前期：105億円)	・ 導入品の契約一時金支出 当期：KRP-A225、KRP-126 (BDT272) 前期：KRP-S124 ・ KRP-R120のPh3試験費用計上	
● 販管費 (研究開発費除く)：360億円 (前期：365億円)	・ 本社移転等によるコスト削減、特許等使用料の増加等	
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	34億円 ( - 57)	( - 14)

特別利益：投資有価証券売却益4億円等

# 2026年3月期 製品別売上状況

(単位：億円)		22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	対前期 (額)	対前期 (%)	27年3月期 (予想)
新医薬品等 (国内)	ベオーバ (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	86	129	181	221	258	+37	+17.1	267
	ラスビック (ニューキノロン系抗菌剤)	18	25	49	78	73	-5	-7.2	90
	リフヌア (選択的P2X3受容体拮抗薬/咳嗽治療薬)	-	2	8	9	9	0	+1.6	10
	デザレックス (アレルギー性疾患治療薬)	71	85	89	96	102	+6	+6.5	23
	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	126	120	129	137	128	-9	-6.8	123
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	140	128	123	122	123	+1	+1.4	102
	キプレス (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	84	66	70	35	22	-13	-37.7	10
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	35	35	42	36	37	+1	+3.6	54
	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	21	20	19	18	18	0	-1.8	18
	ルビスタ (環境除菌・洗浄剤)	21	21	15	11	8	-3	-28.6	7
後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」 (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	122	133	123	120	114	-6	-4.4	101
	モメタゾン点鼻液「杏林」 (定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤)	36	47	45	41	45	+4	+10.0	39

# 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況

(単位：百万円)	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	対前期 (%)	27年3月期 (予想)
研究開発費	8,897	10,903	8,019	10,514	<b>12,060</b>	+14.7	<b>9,300</b>
設備投資	3,624	5,252	6,587	6,153	<b>3,955</b>	-35.7	<b>4,300</b>
減価償却費	3,714	3,840	4,290	4,603	<b>4,663</b>	+1.3	<b>4,700</b>

## 設備投資の詳細 (実績/予想)

(単位：億円)	25年3月期	26年3月期	27年3月期 (予想)
工場設備	46	<b>34</b>	<b>32</b>
管理・販売設備	9	<b>1</b>	<b>5</b>
研究用設備	6	<b>4</b>	<b>6</b>

# 開発品一覧① (2026年5月12日現在)

## Ph3 ~ 発売

※前回 (2026年2月4日) からの更新

開発コード	開発段階		予定適応症/ 対象疾患	起 源	特 徴	備 考
	国内	海外				
KRP-R120	Ph3 自社 (22年9月)	Ph3 エイタイヤー社	間質性肺疾患 (肺サルコイドーシス)	エイタイヤー社 (アメリカ)	融合タンパク製剤であり、Neuropilin-2受容体 (NRP2) に結合することで過剰な免疫細胞の活性化を抑制する作用を有し、ファースト・イン・クラスの治療薬として肺サルコイドーシス等の炎症疾患への効果が期待される	
KRP-114VP	Ph3※ 自社 (26年5月)	—	過活動膀胱	メルク社 (アメリカ)	膀胱平滑筋に存在するβ3アドレナリン受容体を選択的に刺激し、膀胱を弛緩させることで蓄尿機能を亢進し、過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁を改善する	・ベオーバの小児への適応拡大

## DTx

開発コード	契約先	予定適応症/ 対象疾患	備考
KRP-DT123	サスメド(株)	耳鳴	<ul style="list-style-type: none"> <li>耳鼻科領域における治療用アプリの共同研究開発及び販売に関する契約を締結 (22年11月)</li> <li>検証的試験開始 (26年5月) ※</li> </ul>
KRP-DC125	ハイフ社 (アメリカ)	慢性咳嗽	<ul style="list-style-type: none"> <li>慢性咳嗽治療用アプリに関する「開発・商業化契約」を締結</li> <li>検証的試験準備中</li> </ul>

# 開発品一覧②（2026年5月12日現在）

## POCプロジェクト（Ph1～Ph2）

※前回（2026年2月4日）からの更新

開発コード	開発段階		予定適応症／ 対象疾患	起 源	特 徴	備 考
	国内	海外				
<b>KRP-S124</b> <b>(BAY2925976)</b>		Ph1終了 バイエル社	閉塞性睡眠時無呼吸 等	バイエル社 (ドイツ)	ADRA2C拮抗作用を有し、中枢性に上気道 虚脱を軽減し、閉塞性睡眠時無呼吸に見れる 一時的な無呼吸・低呼吸を改善することが 期待される	<ul style="list-style-type: none"> <li>全世界を対象とした独占的製造、 開発、販売権に関するライセンス 契約を締結（24年12月）</li> <li>Ph2準備中</li> </ul>
<b>KRP-A225</b> <b>(HB2198)</b>		Ph1※ ヒンジバイオ社	全身性エリテマトーデス (SLE) 等	ヒンジバイオ社 (アメリカ)	B細胞表面上のCD19及びCD20分子を標的 とする二重特異性抗体  B細胞の除去により免疫システムを「リセット」 することで、SLEへの治療効果が期待される	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本における共同開発及び販売 に関するライセンス契約を締結 (25年9月)</li> </ul>
<b>KRP-126※</b> <b>(BDT272)</b>		Ph1 ビオドール社	神経障害性疼痛	ビオドール社 (フランス)	神経障害性疼痛などの慢性疼痛の発症と 持続に深く関与するFLT3（受容体型チロシ キナーゼファミリー）に抑制的に作用することで、 効果的な鎮痛作用を発揮することが期待さ れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>オプション契約に基づく権利を行 使し、日本、韓国、台湾における 開発、製造、販売権を取得 (26年3月)</li> <li>Ph1準備中（国内）</li> </ul>

# 開発品一覧③ (2026年5月12日現在)

## 導出品

開発コード	開発段階	導出先	予定適応症／対象疾患	起 源	特 徴	備 考
KRP-M223	前臨床	ノバルティス社 (スイス)	マスト細胞が関与する慢性特発性蕁麻疹等のアレルギー性疾患や炎症性疾患	自社	MRGPRX2 拮抗薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>全世界を対象とした独占的な開発、製造、及び商業化に関するライセンス契約を締結 (25年3月)</li> <li>当社は日本における商業化及び日本向けの製造に関するオプションを保有</li> </ul>

## オプション契約

開発コード	開発段階		予定適応症／対象疾患	起 源	特 徴	備 考
	国内	海外				
CYR-064	—	Ph2 シラーノ社	感冒後嗅覚障害	シラーノ社 (アメリカ)	テオフィリン含有点鼻製剤であり、非特異的ホスホジエステラーゼ阻害作用によりcAMPの分解を抑制し、細胞内濃度を上昇させて神経の興奮性を高める	日本における開発・販売権のライセンスに係るオプション契約を締結 (25年2月)

# 2027年3月期 業績予想

(単位：百万円)	26年3月期 (実績)	27年3月期 (予想)	対前期 (額)	対前期 (%)
<b>売上高</b>	126,257	<b>121,800</b>	-4,457	-3.5
新医薬品等（国内）	87,113	<b>83,500</b>	-3,613	-4.1
新医薬品（海外）	693	<b>300</b>	-393	-56.7
後発医薬品	38,451	<b>37,900</b>	-551	-1.4
<b>営業利益</b>	3,567	<b>2,000</b>	-1,567	-43.9
<b>経常利益</b>	4,031	<b>2,300</b>	-1,731	-42.9
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	3,448	<b>1,500</b>	-1,948	-56.5

## 【参考資料】

# 損益計算書の概要－①

(単位：百万円)	25年3月期		26年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
売上高	130,087	100.0%	126,257	100.0%	-2.9	-3,829
新医薬品等 (国内)	84,158	64.7%	87,113	69.0%	+3.5	+2,954
新医薬品 (海外)	8,860	6.8%	693	0.5%	-92.2	-8,167
後発医薬品	37,068	28.5%	38,451	30.5%	+3.7	+1,383

## <当期のポイント>

(対前期)

■売上高 126,257百万円 (-3,829)

●新医薬品等 (国内) 87,113百万円 (+2,954)

(億円)	25.3		26.3	
・ベオーバ	221	⇒	258	(+37)
・ラスビック	78	⇒	73	(-5)
・リフヌア	9	⇒	9	(0)
・デザレックス	96	⇒	102	(+6)
・フルティフォーム	137	⇒	128	(-9)
・ペンタサ	122	⇒	123	(+1)
・キプレス	35	⇒	22	(-13)
・ムコダイン	36	⇒	37	(+1)

●新医薬品 (海外) 693百万円 (-8,167)

・導出品の契約一時金収入の反動減 (KRP-M223) -82億円

●後発医薬品 38,451百万円 (+1,383)

- ・長期収載品の選定療養等の影響
- ・24年度追補収載品等の売上寄与

### <連結子会社及び持分法適用会社について>

連結子会社2社： キョーリン リメディオ(株)  
キョーリン製薬グループ工場(株)  
持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

# 損益計算書の概要 - ②

(単位：百万円)	25年3月期		26年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
売上高	130,087	100.0%	126,257	100.0%	-2.9	-3,829
売上原価	70,551	54.2%	74,634	59.1%	+5.8	+4,083
売上総利益	59,535	45.8%	51,622	40.9%	-13.3	-7,912
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	46,967 (10,514)	36.1% (8.1%)	48,055 (12,060)	38.1% (9.6%)	+2.3 (+14.7)	+1,087 +1,545
営業利益	12,567	9.7%	3,567	2.8%	-71.6	-9,000
営業外収益	870	0.7%	812	0.6%	-6.6	-57
営業外費用	218	0.2%	349	0.3%	+60.0	+131
経常利益	13,219	10.2%	4,031	3.2%	-69.5	-9,188
特別利益	103	0.1%	473	0.4%	+359.4	+370
特別損失	551	0.4%	53	0.0%	-90.3	-498
税金等調整前 当期純利益	12,770	9.8%	4,451	3.5%	-65.1	-8,319
法人税・住民税 及び事業税	3,807	2.9%	1,247	1.0%	-67.2	-2,560
法人税等調整額	-123	-0.1%	-244	-0.2%	-98.3	-121
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,086	7.0%	3,448	2.7%	-62.0	-5,637

## <当期のポイント>

(対前期)

### ◆売上原価率：59.1% (+4.9ポイント)

【低下要因】

- ・新薬の売上増加（ベオーバ、デザレックス等）

【上昇要因】

- ・導出品の契約一時金収入の反動減（KRP-M223）
- ・薬価改定（杏林製薬5%台）
- ・後発医薬品の売上増加

### ◆研究開発費比率：9.6% (+1.5ポイント)

- ・121億円（前期：105億円）
- 導出品の契約一時金支出
- 当期：KRP-A225、KRP-126（BDT272）
- 前期：KRP-S124
- KRP-R120のPh3試験費用計上

### ◆販管費比率（研究開発費除く）：28.5% (+0.5ポイント)

- ・360億円（前期：365億円）
- 本社移転等によるコスト削減、特許等使用料の増加等

### ■営業利益：3,567百万円 (-9,000百万円)

### ■経常利益：4,031百万円 (-9,188百万円)

### ■特別利益：473百万円

- ・投資有価証券売却益368百万円等

### ■親会社株主に帰属する当期純利益 3,448百万円 (-5,637百万円)

# 貸借対照表の概要

(単位：百万円)	25年3月期末		26年3月期末		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	136,134	70.3%	<b>135,142</b>	69.1%	-991
現金及び預金	15,021		<b>11,802</b>		
受取手形及び売掛金	47,583		<b>47,342</b>		
有価証券	1,493	—	<b>3,279</b>	—	—
棚卸資産	65,731		<b>67,790</b>		
その他の流動資産	6,304		<b>4,927</b>		
<b>固定資産</b>	57,483	29.7%	<b>60,312</b>	30.9%	+2,828
有形固定資産	30,303		<b>30,506</b>		
無形固定資産	4,757	—	<b>4,085</b>	—	—
投資その他の資産	22,422		<b>25,720</b>		
<b>資産合計</b>	193,618	100.0%	<b>195,455</b>	100.0%	+1,836
<b>流動負債</b>	35,111	18.1%	<b>29,368</b>	15.0%	-5,743
支払手形及び買掛金	15,517		<b>14,441</b>		
その他の流動負債	19,594	—	<b>14,927</b>	—	—
<b>固定負債</b>	22,221	11.5%	<b>23,661</b>	12.1%	+1,439
<b>負債合計</b>	57,333	29.6%	<b>53,029</b>	27.1%	-4,303
<b>株主資本</b>	130,892	67.6%	<b>131,067</b>	67.1%	+175
<b>その他の包括利益累計額</b>	5,392	2.8%	<b>11,357</b>	5.8%	+5,964
その他有価証券評価差額金	5,544		<b>7,289</b>		
繰延ヘッジ損益	13	—	<b>64</b>	—	—
退職給付に係る調整累計額	-166		<b>4,003</b>		
<b>純資産合計</b>	136,285	70.4%	<b>142,425</b>	72.9%	+6,140
<b>負債及び純資産合計</b>	193,618	100.0%	<b>195,455</b>	100.0%	+1,836

## <当期のポイント>

(対前期末)

### ■ 流動資産：991百万円減

- ・現金及び預金の減少 ( -3,219百万円)
- ・受取手形及び売掛金の減少 ( -241百万円)
- ・有価証券の増加 ( +1,786百万円)
- ・棚卸資産の増加 ( +2,059百万円)
- ・その他の流動資産の減少 ( -1,376百万円)

### ■ 固定資産：2,828百万円増

- ・有形固定資産の増加 ( +202百万円)
- ・無形固定資産の減少 ( -671百万円)
- ・投資その他の資産の増加 ( +3,297百万円)

### ■ 流動負債：5,743百万円減

- ・支払手形及び買掛金の減少 ( -1,076百万円)
- ・その他の流動負債の減少 ( -4,666百万円)

### ■ 固定負債：1,439百万円増

# 主な業績項目の推移

(単位：百万円)	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	27年3月期 (予想)
売上高	105,534	113,270	119,532	130,087	126,257	121,800
(海外売上)	(1,033)	(308)	(386)	(8,860)	(693)	(300)
売上原価	56,093	63,102	67,904	70,551	74,634	—
(売上原価率)	(53.2%)	(55.7%)	(56.8%)	(54.2%)	(59.1%)	—
販売費及び一般管理費	44,433	45,043	45,394	46,967	48,055	—
(販管费率)	(42.1%)	(39.8%)	(38.0%)	(36.1%)	(38.1%)	—
うち研究開発費	8,897	10,903	8,019	10,514	12,060	9,300
(研究開発费率)	(8.4%)	(9.6%)	(6.7%)	(8.1%)	(9.6%)	(7.6%)
営業利益	5,007	5,123	6,234	12,567	3,567	2,000
(営業利益率)	(4.7%)	(4.5%)	(5.2%)	(9.7%)	(2.8%)	(1.6%)
経常利益	5,569	5,827	6,822	13,219	4,031	2,300
(経常利益率)	(5.3%)	(5.1%)	(5.7%)	(10.2%)	(3.2%)	(1.9%)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,932	4,723	5,475	9,086	3,448	1,500
(当期純利益率)	(3.7%)	(4.2%)	(4.6%)	(7.0%)	(2.7%)	(1.2%)
一株当たり当期純利益	68.62円	82.44円	95.41円	158.17円	60.03円	26.11円
資本金	700	700	700	700	700	—
総資産	171,924	176,045	177,627	193,618	195,455	—
株主資本	120,491	122,182	124,839	130,892	131,067	—
純資産	124,507	125,461	130,735	136,285	142,425	—
一株当たり純資産	2,172.83円	2,189.40円	2,275.68	2,372.29円	2,479.28円	—
自己資本利益率	3.2%	3.8%	4.3%	6.8%	2.5%	—
自己資本比率	72.4%	71.3%	73.6%	70.4%	72.9%	—
人員	2,222人	2,138人	2,042人	1,998人	1,982人	—
設備投資	3,624	5,252	6,587	6,153	3,955	4,300
減価償却費	3,714	3,840	4,290	4,603	4,663	4,700

# 損益計算書の概要：杏林製薬（単体）－①

(単位：百万円)	25年3月期		26年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
売上高	115,918	100.0%	110,934	100.0%	-4.3	-4,983
新医薬品等（国内）	82,537	71.2%	85,668	77.2%	+3.8	+3,131
新医薬品（海外）	8,860	7.6%	693	0.6%	-92.2	-8,167
後発医薬品	24,520	21.2%	24,572	22.2%	+0.2	+52

＜当期のポイント＞		(対前期)
■売上高	110,934百万円	( -4,983)
●新医薬品等（国内）	85,668百万円	( +3,131)
(億円)	<u>25.3</u>	<u>26.3</u>
・ベオーバ	221 ⇒ 258	( +37)
・ラスピック	78 ⇒ 73	( -5)
・リフヌア	9 ⇒ 9	( 0)
・デザレックス	96 ⇒ 102	( +6)
・フルティフォーム	137 ⇒ 128	( -9)
・ペンタサ	122 ⇒ 123	( +1)
・キプレス	35 ⇒ 22	( -13)
・ムコダイン	36 ⇒ 37	( +1)
●新医薬品（海外）	693百万円	( -8,167)
・導出品の契約一時金収入の反動減（KRP-M223）	-82億円	
●後発医薬品	24,572百万円	( +52)

# 損益計算書の概要：杏林製薬（単体）－②

(単位：百万円)	25年3月期		26年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
<b>売上高</b>	115,918	100.0%	<b>110,934</b>	100.0%	-4.3	-4,983
<b>売上原価</b>	59,667	51.5%	<b>62,080</b>	56.0%	+4.0	+2,413
<b>売上総利益</b>	56,250	48.5%	<b>48,853</b>	44.0%	-13.1	-7,396
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	43,348 (9,520)	37.4% (8.2%)	<b>44,568</b> <b>(11,020)</b>	40.2% (9.9%)	+2.8 (+15.8)	+1,220 (+1,500)
<b>営業利益</b>	12,902	11.1%	<b>4,285</b>	3.9%	-66.8	-8,617
営業外収益	990	0.9%	<b>1,017</b>	0.9%	+2.8	+27
営業外費用	187	0.2%	<b>254</b>	0.2%	+35.8	+67
<b>経常利益</b>	13,706	11.8%	<b>5,048</b>	4.6%	-63.2	-8,657
特別利益	0	0.0%	<b>416</b>	0.4%	—	+415
特別損失	486	0.4%	<b>13</b>	0.0%	-97.2	-472
<b>税金等調整前 当期純利益</b>	13,219	11.4%	<b>5,450</b>	4.9%	-58.8	-7,768
法人税・住民税 及び事業税	4,167	3.6%	<b>1,520</b>	1.4%	-63.5	-2,646
法人税等調整額	-329	-0.3%	<b>-253</b>	-0.2%	-23.1	+76
<b>当期純利益</b>	9,382	8.1%	<b>4,183</b>	3.8%	-55.4	-5,198

## <当期のポイント>

(対前期)

◆ **売上原価率：56.0%** (+4.5ポイント)

【低下要因】

- ・新薬の売上増加（ベオーバ、デザレックス等）

【上昇要因】

- ・導出品の契約一時金収入の反動減（KRP-M223）
- ・薬価改定（杏林製薬5%台）
- ・後発医薬品の売上増加

◆ **研究開発費率：9.9%** (+1.7ポイント)

- ・110億円（前期：95億円）

- 導出品の契約一時金支出

- 当期：KRP-A225、KRP-126（BDT272）

- 前期：KRP-S124

- KRP-R120のPh3試験費用計上

◆ **販管費率(研究開発費除く)：30.2%** (+1.0ポイント)

- ・335億円（前期：338億円）

- 本社移転等によるコスト削減、特許等使用料の増加等

■ **営業利益：4,285百万円** (-8,617百万円)

■ **経常利益：5,048百万円** (-8,657百万円)

■ **特別利益：416百万円**

- ・投資有価証券売却益368百万円等

■ **当期純利益 4,183百万円** (-5,198百万円)

# 貸借対照表の概要：杏林製薬（単体）

(単位：百万円)	25年3月期末		26年3月期末		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	134,004	74.6%	<b>134,139</b>	75.9%	+135
現金及び預金	11,122		<b>9,807</b>		
売掛金	42,351		<b>42,940</b>		
有価証券	1,493	—	<b>3,279</b>	—	—
棚卸資産	54,240		<b>56,404</b>		
その他の流動資産	24,796		<b>21,707</b>		
<b>固定資産</b>	45,645	25.4%	<b>42,584</b>	24.1%	-3,061
有形固定資産	6,861		<b>6,209</b>		
無形固定資産	4,382	—	<b>3,772</b>	—	—
投資その他の資産	34,401		<b>32,602</b>		
<b>資産合計</b>	179,650	100.0%	<b>176,723</b>	100.0%	-2,926
<b>流動負債</b>	33,010	18.4%	<b>26,939</b>	15.2%	-6,071
買掛金	15,542		<b>14,862</b>		
その他の流動負債	17,468	—	<b>12,076</b>	—	—
<b>固定負債</b>	21,290	11.9%	<b>21,841</b>	12.4%	+550
<b>負債合計</b>	54,301	30.2%	<b>48,781</b>	27.6%	-5,520
<b>株主資本</b>	119,910	66.7%	<b>120,785</b>	68.3%	+875
<b>評価・換算差額等</b>	5,438	3.0%	<b>7,156</b>	4.0%	+1,718
<b>純資産合計</b>	125,348	69.8%	<b>127,942</b>	72.4%	+2,594
<b>負債及び純資産合計</b>	179,650	100.0%	<b>176,723</b>	100.0%	-2,926

## <当期のポイント> (対前期末)

### ■ 流動資産：135百万円増

- ・ 現金及び預金の減少 ( -1,314百万円)
- ・ 売掛金の増加 ( +588百万円)
- ・ 有価証券の増加 ( +1,786百万円)
- ・ 棚卸資産の増加 ( +2,164百万円)
- ・ その他の流動資産の減少 ( -3,088百万円)

### ■ 固定資産：3,061百万円減

- ・ 有形固定資産の減少 ( -652百万円)
- ・ 無形固定資産の減少 ( -610百万円)
- ・ 投資その他の資産の減少 ( -1,798百万円)

### ■ 流動負債：6,071百万円減

- ・ 買掛金の減少 ( -680百万円)
- ・ その他の流動負債の減少 ( -5,391百万円)

### ■ 固定負債：550百万円増

# 主な業績項目の推移：杏林製薬（単体）

(単位：百万円)	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	27年3月期 (予想)
売上高	92,010	97,526	105,157	115,918	110,934	105,400
（海外売上）	(834)	(112)	(386)	(8,860)	(693)	(300)
売上原価	48,736	52,479	56,581	59,667	62,080	—
（売上原価率）	(53.0%)	(53.8%)	(53.8%)	(51.5%)	(56.0%)	—
販売費及び一般管理費	40,413	40,415	41,682	43,348	44,568	—
（販管費率）	(43.9%)	(41.4%)	(39.6%)	(37.4%)	(40.2%)	—
うち研究開発費	7,695	9,233	7,088	9,520	11,020	8,300
（研究開発費率）	(8.4%)	(9.5%)	(6.7%)	(8.2%)	(9.9%)	(7.9%)
営業利益	2,859	4,631	6,894	12,902	4,285	2,600
（営業利益率）	(3.1%)	(4.7%)	(6.6%)	(11.1%)	(3.9%)	(2.5%)
経常利益	3,781	5,727	7,632	13,706	5,048	3,300
（経常利益率）	(4.1%)	(5.9%)	(7.3%)	(11.8%)	(4.6%)	(3.1%)
当期純利益	2,620	5,722	53,144	9,382	4,183	2,200
（当期純利益率）	(2.8%)	(5.9%)	(50.5%)	(8.1%)	(3.8%)	(2.1%)
一株当たり当期純利益	35.28円	77.06円	925.92円	163.29円	72.82円	38.29円
資本金	4,317	4,317	700	700	700	—
総資産	159,980	164,761	163,453	179,650	176,723	—
株主資本	113,052	115,953	113,550	119,910	120,785	—
純資産	119,232	121,550	119,356	125,348	127,942	—
一株当たり純資産	1,605.43円	1,636.65円	2,077.37円	2,181.64円	2,226.69円	—
自己資本利益率	2.2%	4.8%	57.7%	7.7%	3.3%	—
自己資本比率	74.5%	73.8%	73.0%	69.8%	72.4%	—
人員	1,441人	1,364人	1,353人	1,330人	1,322人	—
設備投資	627	505	1,108	1,384	433	1,000
減価償却費	1,461	1,608	2,410	1,983	2,059	1,800

※2023年4月1日付で当社の完全子会社であった旧杏林製薬株式会社を吸収合併しました。2023年3月期までは吸収合併前の旧杏林製薬株式会社の数値、2024年3月期以降は吸収合併後の当社の数値となっております。

※2025年3月期より会計方針の変更を行っており、2024年3月期に係る数値については遡及修正後の数値を記載しております。